

今月のテーマ **新製品「くすりコール・ライト」のご紹介**



「くすりコール・ライト」は、一般在宅や高齢者施設で使用できるくすりカレンダー型の服薬支援機器です。

「見守り」がしづらい「高齢者の服薬」において、高齢者に対しアラームによる『飲み忘れ防止』、家族や薬剤師・介護者には『服薬状況の共有』により、高齢者の見守りと服薬管理を実現する製品です。

運用イメージ



服薬みまもりサービス



服薬



服薬時刻になると  
LED とアラーム音で  
お知らせ

♪ 停止



停止ボタンを押して  
くすりを服用

メール通知

- ・メールで服薬をお知らせ
- ・「飲み忘れ」の場合もお知らせ

服薬みまもりサービスとは？

在宅高齢者の場合、『服薬みまもりサービス』を使えば関係者同士で服薬状況の共有が可能です。病院・施設での服薬管理にも有用で、『服薬みまもりサービス』によってスタッフ間で情報共有ができるほか、服薬指導の効果を測定することにも役立ちます。

特長

壁にかけて使える・一目でわかる  
おくすりカレンダー型

2021年10月発売

型 式：KCL-1  
サイズ：380×620×25mm  
価 格：35,200円（税込）



時刻がくると「光」と「音」でお知らせ  
遠くからでもわかる大型LEDランプとメロディ音で知らせます。

透明で間口の広い収納ポケット

中身が一目で分かる大容量の専用ポケットです。  
LEDランプと同じ色なので、時間帯がはっきりと分かります。

一般在宅高齢者の服薬支援に！  
高齢者・介護者にわかりやすく使いやすい！

## 「くすりコール・ライト」開発の背景 ～ 在宅高齢者のお薬事情 ～

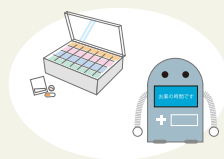
在宅高齢者の服薬には様々な課題があります。  
例えば飲み忘れ等で起こる「残薬」は、日本全体で年間1,000億円に上ると云われていますが、その内75歳以上の高齢者で475億円を占めると推計されています。

残薬はその金額や数だけの問題ではなく、本来飲むべき薬を飲まずにいると症状が悪化する原因にもなります。また、複数の診療所でお薬をもらって服用を継続してしまう「多剤併用」も問題視されており、管理の目が届きにくい在宅において、いかに高齢者の服薬を支援していくかが今後一層求められています。

既にいろいろな対策製品がありますが、簡易なお薬



ケースでは習慣づけが難しく、複雑な服薬ロボットでは運用が困難です。



そこで弊社は、高齢者が気軽に使えて、家族や支援者の助けになる製品として、開発したものが「くすりコール・ライト」です。



### 服薬支援

LED・アラーム

服薬時刻をお知らせ

### 見守り

アプリで服薬確認  
メール通知

服薬をアプリに表示  
「飲み忘れ」をお知らせ

\*見守り機能はオプションサービスとなります

専用アプリを使って、メール通知機能と服薬レポートの確認ができます。

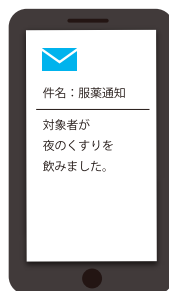
### 服薬みまもりアプリ

月額利用料 **330円** (税込)



### アプリ機能 その① /

### 服薬メール



服薬メールは、服薬や飲み忘れを家族にメールでお知らせします。  
メール送信先は「3件」まで登録できます。

送信先例) 家族のほか、介護者・薬剤師などの支援者

### アプリ機能 その② /

### 服薬レポート



服薬レポートは、服薬や飲み忘れを○・×で表示します。  
今まで確認の難しかった高齢者の服薬状況が一目で確認できるので、服薬支援と見守りにつなげることができます。